



六甲山新聞

消えた六甲ロープウェー

記念碑台の南側、六甲山郵便局のすぐ近くに六甲ロープウェーの山上駅がありました。しかし、六甲ロープウェーはすがたを消しました。そして、そのまま60年がたっています。



1931年、阪急電鉄は、全長1700mのロープウェーを建設、ふもとの土橋と山上をわずかに7分で結ぶという快挙を成し遂げました。物珍しさも手伝って、一度乗ってみようという客が、後から後から押し寄せたといひます。車窓から見える市街地のパノラマはすばらしく、それまで無かった「空中散歩」の楽しさを人々に教えました。このロープウェーのおかげで、六甲山は大人気になりました。しかし、太平洋戦争の金属供出により（金属を提供せねばならず）ロープウェーを運営することが出来なくなりました。それで、今は六甲ロープウェーは存在していません。それでも、駅舎跡のみが山中にひっそりと残っています。

六甲なぞなぞ

第一問 六甲ケーブルの定員は何人？

第二問 六甲ケーブルの色は？（簡単）

第三問 六甲ケーブルは今何周年？



六甲ケーブルは1932年に出来ました。どうして、ケーブルは残り、ロープウェーは無くなったのでしょうか。実は摩耶ケーブル、六甲ケーブル、六甲ロープウェーすべて撤去されるはずでした。ケーブルの撤去工事に手間取っている間に、戦争が終わってしまったので、六甲ケーブルは残ったのです。